



子育て世代包括支援センター

『なないろ』がオープンしました



子育ての専門相談窓口として業務スタート

子育て世代の皆さんを、妊娠期から子育て期まで切れ目なくサポートする「子育て世代包括支援センター『なないろ』」が、4月1日にオープンしました。

「なないろ」は、母子健康手帳の交付からスタートし、妊娠期から子育て真っ最中までの不安や悩みを抱えている人などが利用できる場所です。「なないろ」の役割、施設を紹介します。

ここにあるの？

「なないろ」は、保健センター2階にあります。



保健センターの窓に貼られた「なないろ」の場所を示す虹のロゴマーク

建物に貼られた「虹のロゴマーク」が目印です。

どんなときに利用できるの？

「なないろ」は、次の場合に利用できます。

①妊娠の届け出(母子健康手帳の交付)

妊娠が分かり、医療機関から母子健康手帳の交付を受けるように指示があったら「なないろ」にお越しください。母子健康手帳(父子健康手帳)をお渡しします。



母子健康手帳の交付と一緒にマタニティプラン、子育てプランを個別提案

■「なないろ」ネーミングへの思い

「なないろ」のネーミングは、愛称を一般募集して決定しました。このネーミングには、「みんな色々な色がある。みんな違ってそれで良い。センターからいろんな所へ、虹のような架け橋になって欲しい」という、愛称考案者の思いが込められています。

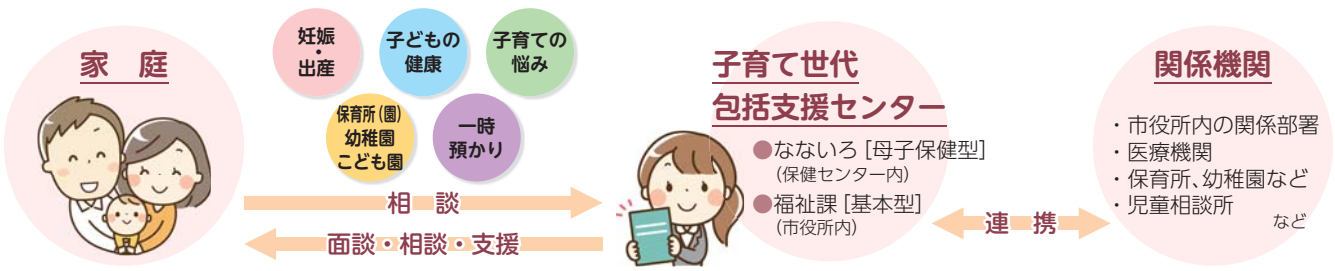
「なないろ」では、関係機関と“虹のような架け橋”となり連携し、妊娠・出産・子育てに関する相談にお応えします。

■支援センター開設の背景

子育て世代包括支援センターは、市区町村が開設する親子を継続的に支援する総合的な窓口です。社会保障制度が充実する北欧・フィンランドで行われている「ネウボラ」(フィンランド語で「助言の場」の意味)と呼ばれる子育て支援制度がモデルとされています。

平成29年に母子保健法にセンターの目的が定められ、市区町村が必要に応じて整備を進めることになりました。

～ 妊娠期から子育て期まで、一貫してサポート～



「なないろ」訪問ファミリー第1号

明るくきれい。落ち着いて相談できます。

林さん ご家族
 ひろまさ めぐみ しゅうか
 弘将さん 恵さん 柊花ちゃん [上谷中]

「第一印象は明るくてきれいな場所だと思いました。一般的な窓口だと周囲が騒がしいときもあるので、この雰囲気だと落ち着いて相談できると思います。子どもが遊ぶスペースにはクッション材もあって良いですね。場所もこれまでよりも分かりやすくなったし、もっと気軽に相談に訪れる人が増えるんじゃないでしょうか」



①明るく清潔なイメージで整えた室内。相談者のプライバシーにも配慮した間仕切りを設置②室内におむつ交換台と手洗い所を完備③入り口ドア付近をかわいらしく装飾

訂正とおわび
 本紙4月号11ページ掲載の『「なないろ」愛称決定』の記事で、考案者名に誤りがありました。次の通り訂正し、おわびします。
 【正】渡邊菜摘さん 【誤】渡邊奈摘さん

その際、妊婦さん一人ひとりに合わせたプランを提供するとともに母子保健サービスの紹介を行います。
 ② 妊娠期から子育て期までの相談
 妊婦さんには、妊娠が分かったときから自身の健康管理の他に、親として子どもの健康や、子育てに対する不安・心配が伴います。そうしたときの相談に応じるのが支援センターの役割です。アドバイスや状況に応じて必要な情報を提供します。

「なないろ」の専用ルームは、明るい内装でオープンな雰囲気です。
 相談・面接時にはプライバシーに配慮し、可動式スクリーン(間仕切り)で姿が見えないようになります。
 子ども連れでも遊べる「キッズコーナー」や、授乳やオムツ交換にも対応した設備が整っています。

「相談はお気軽に」
 73・7716
 相談者の皆さんにとって「近い存在でありたい」と願って、保健師などの専門職が電話、来所、訪問で相談にお応えします。
 電話は73・7716。
 「なないろ」と覚えてください。
 来所でも訪問でも、まずは電話での約束でも構いません。お気軽にご相談ください。

子育て世代包括支援センターは、「なないろ」(健康管理課・母子保健型)と福祉課(基本型)がともに窓口です。
 地域で安心して子育てができるように、各種サービスの紹介や相談など、各ご家庭に合わせてサポートします。
 ■「なないろ」
 場所：匝瑳市八日市場イ2408番地1 匝瑳市保健センター2階
 電話番号：73・7716
 ■市役所福祉課
 場所：匝瑳市八日市場ハ793番地2 匝瑳市役所1階
 電話番号：73・0096